

自然と文化科

箕面公開観察会

活動記録

日時	2019年5月27日(月) 9:30~15:00		天候: 晴れ	担当者
場所	箕面公園: 箕面駅~聖天展望台~箕面山荘~才が原池(昼食)~地獄谷~瀧安寺			文 : 長尾 雅人 写真: 長尾 雅人
備考	本科講座生対象の公開観察会 全体リーダー 長尾 雅人 各班リーダー 講座生(24名) オブザーバー(6名) 1班 村上好子・山口千恵子 6名 池田 清 2班 青木 茂・藤原泰子 7名 大原 徹 3班 石川隆一・上田忠司 6名 鹿本郁代・竹山秀規 4班 福島いずみ・藤川宗昭 5名 中川一成・橋本英利			

一昨日より異常に高い気温が続き、陽射しが懸念されたが、木陰に入ると、まだ湿気のない爽やかな風により、心地よく観察できました。

9時10分のスタッフ打合せの後、予定の実習生のうち3名が欠席。どの方も事前連絡がありました。

9時30分「観察会を楽しむことと世界を広げよう」という全体での話の後、班ごとの観察会がスタートしました。途中の車道には工事現場があり、安全面では少し危ない場所がありました。

主な観察は、カエデの翼果やアオギリとキリの比較、アリドオシの実、花は、センダン、カナメモチ、ネジキ、ナツハゼ、エゴノキ、ソヨゴ、コックバネウツギ、スイカズラなどが観察出来ました。エビガライチゴの葉にナナフシが留っていました。リーダーが用意した絵や実物を示しながらの説明に、実習生は、よく記録していました。聖天展望台では、山々の樹々の色から、シイやマツのある位置を眺め確かめていました。

午前中、熱心なあまり進行が少し遅れ気味でしたが、その分昼食時間を短縮して午後を出発しました。

ウミズザクラとイヌザクラの比較。指示棒が役に立ちます。コウイチカツウやヤマボウシの花を観察して地獄谷へと降りました。途中、5~6匹の猿と遭遇しましたが、リーダーの冷静な行動で事なきを得ました。その後、ハクサンハタザオ、イヌガシ、ヤブニッケイ、ミズタビラコ、ヤマムグラ、コアシサイ等観察しました。

14時25分~14時50分にはゴールの瀧安寺に到着して、振り返りを一言話してもらい、アンケート記入後解散しました。スタッフ同志、協力の世界を少し広げることができた実践活動となりました。

才が原池の畔でお弁当



観察開始 カラムシの説明



センダンの開花



クロモジの説明を聞く



エビガライチゴにナナフシが。

実習生からは、「こんなに多くの植物があるとは思わなかった。」との声。9月にリピータがどれくらいあるかが楽しみでもある。

箕面公開観察会アンケート集計結果（講座生24人）

自然と文化科

- ① 参加回数 初めて：23人、2回目：1人、3回目：1人、4回以上：0人
- ② 満足度 <全員> 非常によかった：13人、良かった：11人、普通：0人
<複数回参加者> 非常に良かった：1人、良かった：1人
- ③ リーダーの案内、説明についての感想
適当である：19人、もっと詳しく説明して欲しい：1人、もっと簡単でよい：4人
- ・わかりやすく興味を持てるように説明していただけたのがよかった。5
 - ・声をもう少し大きくしてほしい。発音が聞き取りにくいかった。2
 - ・他の班と説明が重なったのが残念。
 - ・良く知っていることにびっくりしました。
 - ・少人数での観察で話が聞きやすかった。
- ④ 観察コースについての感想
良かった：19人、普通：5人、良くなかった：0人
- ・登りはきつかった。4
 - ・もう少しゆっくり歩いてほしかった。3
- ⑤ 意見・感想
- ・多くの植物をみられたのがよかった・驚いた。7人
 - ・草木の名前や特色を説明してもらい、これから見方が変わると思う。5
 - ・葉っぱの出方・つき方がおもしろかった。4
 - ・これからも参加したい。違う季節にも。4
 - ・山の自然、新緑、植物の葉の色の美しさが印象に残った。3
 - ・もっと勉強しなければと思った。3
 - ・もっとトレーニングして山歩きしたい。2
 - ・山歩きの楽しみが増えた。2倍楽しめた。2
 - ・暑く、虫がいやだった。2
 - ・気持ちよい疲れでした。
 - ・ゆっくり説明を受けられた。
 - ・昼休みをもっと長くしてほしい。
 - ・自主観察会がこれほど充実しているとは予想していませんでした。
 - ・全員の方がそれぞれ専門的に研究されている様子と思われました。
 - ・サブの方にも聞き直せたのがよかったです。
 - ・カラムシの繊維の話が印象的。布になるなんてびっくり。
 - ・ネジキがたくさん見られたのが印象的。

結果は以上です。

※ 今後のリーダーへつなげる課題として（実習生の声等から）

- ・より花のよく咲く季節に実施したい。（春はもう少し早く）
- ・聞き逃したことは、サブリーダーがカバーする体制で。
- ・声の大きさ・発音に気をつけたい。
- ・班と班の間をできるだけ空けながら進行する。
- ・案内チラシには、虫除け対策について記載する。
- ・サルの出没に際しての注意喚起もしておく。
- ・坂道の歩く速さを考える。また、箕面山荘までの坂道では休憩をとること。